

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また必要な時に読めるよう大切に保存してください。

## 解熱鎮痛薬

### 第2類医薬品

# マルコミンブロック

マルコミンブロックは、かみくだくか、口の中で溶かして服用するチュアブル錠の解熱鎮痛薬です。外出先やオフィスなど、水がなくても飲みやすく、アセトアミノフェンが頭痛・歯痛・生理痛などの痛みや発熱に効果を発揮します。



### 使用上の注意



#### してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります〕

1. 次の人は服用しないでください  
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用前後は飲酒しないでください
4. 長期連用しないでください



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。  
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3)高齢者。  
(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(5)次の診断を受けた人。  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

### 【効能・効果】

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・のどの痛み・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

### 【用法・用量】

次の量を、1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけ、かむか、口中で溶かして服用してください。

服用間隔は4時間以上おいてください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2錠	3回を限度
15歳未満	服用しないでください	

### 【用法・用量に関連する注意】

(1)用法・用量を厳守してください。

(2)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)

(PTPシートの取り出し図)



### 【成分・分量】

1日量(6錠)中

成分	分量
アセトアミノフェン	900mg

添加物として、エチルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール、タウマチン、D-マンニトール、セルロース、カルメロース、クロスポビドン、クエン酸、トメントール、L-グルタミン酸、アセスルファミンK、スクラロース、タルク、ステアリン酸Mg、三酸化鉄、香料を含有する。

### 【保管及び取扱い上の注意】

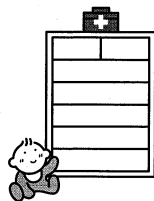
(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2)小児の手のとどかない所に保管してください。

(3)他の容器に入れ替えないでください。

(誤用の原因になったり品質が変わります。)

(4)使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。



### ■お問い合わせ先

本品に関するお問い合わせは、お買い求め先、または下記にお問い合わせ申し上げます。

株式会社 廣貴堂 「お客様相談窓口」

電話番号：076-424-2259

受付時間：9時から17時まで(土・日・祝祭日を除く)

製造販売元



株式会社 廣 貴 堂

〒930-0055 富山市梅沢町2丁目9-1

副作用被害救済制度の問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)